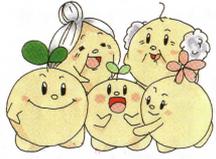


社会福祉法人 鶴田町社会福祉協議会



幸せの種まき運動事業  
イメージキャラクター  
「種まぎくんファミリー」

# ふれあいひろば



題字 つるのこ保育園 おおさか きらく さん

## 中学生が認知症や点字など「福祉」を学ぶ 鶴田中学校

鶴田町社会福祉協議会は昨年の11月15日、中学生が認知症や点字など、福祉について学んでもらう福祉教育講座を鶴田中学校で実施しました。

この講座は、生徒たちが福祉について理解を深めることを目的に鶴田中学校が毎年開催しており、3年生80人余りが、認知症や点字、「ポッチャ」と呼ばれるパラスポーツを体験しました。

このうち、認知症についての講座では、鶴田町社会福祉協



講師 鶴田町社会福祉協議会職員



「財布知らない」と問いかけている「おばあちゃん」



財布が見つかって喜んでいる「おばあちゃんと孫」



点字器を使って点筆で点字を打っている様子



初めてのポッチャ体験～とても楽しい

議会の職員が認知症の高齢者にふんし、寸劇を通してどのように接したらいいのか考える時間が設けられ、優しく声をかけることや笑顔で接することが重要なことを学んでいました。点字についての講座では、視覚障がい者の理解や点字器を使って点筆で点字を打ってみるなどを学んでいました。

また、「ポッチャ」というスポーツの体験も行われました。「ポッチャ」は、的となる白いボールに向かって2つのチームがそれぞれ赤と青のボールを交互に投げて、どれだけ多くのボールを近づけられるかを競うパラスポーツで、生徒たちは、立ったり、車いすに座ったりした状態から、ボールを投げて競い合っていました。



参加した生徒は「初めてポッチャを体験したが、とても楽しかった。障害のある人や高齢者と一緒に楽しみたい」と話していました。

発行

〒038-3503 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193  
〇編集と発行 鶴田町社会福祉協議会 TEL. 22-3394 FAX. 22-6322  
HPアドレス : <http://tsuruta-syakyo.or.jp/>  
〇印刷 有限会社 アート印刷



鶴田町社会福祉協議会HP



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金によって発行しています。

# 令和4年度鶴田町福祉作文コンクール入賞者紹介!

今年度で10年目を迎える福祉作文コンクールは、高齢者や障がい者、子ども達が共に支えあうまちづくりと、地域福祉への理解と関心を深めることを目的として、町内の小・中学校の児童生徒を対象に実施しております。

今回は、小学校35作品、中学校4作品の応募があり、最優秀賞、優秀賞、佳作を受賞された方の紹介をさせていただきます。



安田 理人さんの絵作文より

## 鶴田小学校 低学年の部

### ▼最優秀賞

2年生 ホウレン草のたねをまいたよ 安田 理人

### ▼優秀賞

1年生 やさしいおばあちゃん 笹森 結愛

2年生 むかし話を聞いて 坂本 董

### ▼佳作

1年生 おきにいりのランドセル 下山 麗央

” ばあちゃんのカレーライス 松江 咲良

” ボッチャをしたよ 鈴木 琉生

” おばあちゃんのカレーづくり 今好 花

” ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん 花田 虎太郎

2年生 わたしのおばあちゃん 岡元 音花

” さんごぎつね 神陸 斗

” いろいろなことをしたよ 市川 侑

” じゃがいもほり 成田 健人

## 鶴田小学校 中学年の部

### ▼最優秀賞

4年生 広がれ!あいさつの輪 神 幸村

### ▼優秀賞

3年生 ふくしこうごをしたよ 花田 陽葉

4年生 福祉について考えたこと 小関 徹朗

” 笑顔の力 三橋 穂乃花

### ▼佳作

3年生 手話の大切さ 吉川 輝琉

” ふくしこうごをしたよ 工藤 宗輔

” 手話をやったこと 中野 星香

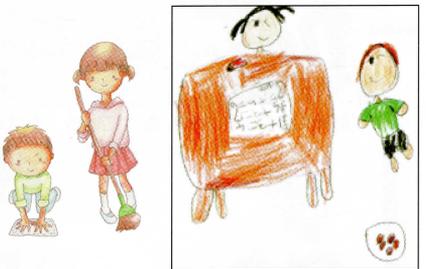
” 手話ってすごい 工藤 陸

” また会えるといいね 鈴木 百花

4年生 人も動物も笑顔にしたい! 葛西 明菜

” わたしの祖母と祖父 田澤 あいな

” やさしい祖母と祖父 笹森 心



笹森 結愛さんの絵作文より



坂本 董さんの絵作文より

## 鶴田小学校 高学年の部

### ▼最優秀賞

6年生 おばあちゃんとの約束 貴田 海樺

### ▼優秀賞

5年生 高齢者の方々が笑顔でいられるために 成田 ヒカリ

6年生 生きものは寄りそい合うこと 福田 美織

### ▼佳作

5年生 ぼくの祖父 石岡 大和

” 誰でも楽しめるボッチャ 成田 聖

” 家族が事故にあったら 北山 幸来

” 自分ができること 齋藤 百香

6年生 みんなで助け合い 齋藤 菜奈

” 私にできること 齋藤 陽

” 私の身近な福祉 神 穂華

” 今までも、これからも 長尾 俊幸

## 鶴田中学校の部

### ▼最優秀賞

3年生 将来の介護 増田 結愛

### ▼優秀賞

3年生 福祉とは 佐々木 優衣

### ▼佳作

3年生 じっちゃんのお教え 山谷 一茶

” 優しくであられる鶴田町 吉川 美有

# 令和4年度 福祉関係表彰者 (順不同・敬称略)

## ◆青森県褒賞

派立 吉川 恵子

◆青森県褒賞  
昨年の11月22日、青森市のホテル青森において、本年度の県褒賞式が行われました。

受賞した40人2団体の代表ら40人が出席し、三村申吾知事から一人一人に褒状と銀杯が贈られました。

吉川 恵子氏は、多年にわたり社会福祉協議会が行う福祉事業においてボランティア活動を続け、社会福祉の向上に貢献した功績を称えられての受賞となりました。

この度は県褒賞のご受賞、誠にめでたうございませぬ。



三村申吾知事から褒状と銀杯を授与される吉川 恵子さん

## 第71回 青森県社会福祉大会

### ◆青森県社会福祉協議会会長表彰

【民生委員・児童委員】

仲 町 木村 夢知子

【施設・社協役職員】

鶴 泊 藤 田 麻里子

### ◆青森県共同募金会会長表彰

【10年以上奉仕功勞「個人」の部】

大 性 三 浦 行 雄

尾 原 須 藤 繁 喜

【20年以上奉仕功勞「個人」の部】

桜 町 松 山 久 志

【30年以上奉仕功勞「個人」の部】

みどり町 宮 本 はる枝

## 第75回 北津軽郡社会福祉大会 中止

### ◆北津軽郡社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉事業奉仕者】

相 原 成 田 勝 敏

〃 〃 奥 山 和 子

強 卷 平 瀬 京 子

鷹ノ尾 藤 田 秀 治

胡桃館 花 田 柳 太 郎

鶴寿団地 齋 藤 京 子

有限会社 外崎配管工業所

## 米寿記念手形贈呈

鶴田町社会福祉協議会では毎年、町内に住所を置く数え年88歳の方を対象に、米寿記念手形を贈呈しております。

今回は昭和10年生まれの対象者138名中、47名の方が希望されました。

手形取りは、昨年の10月下旬から11月上旬にかけて、当会職員がご自宅や介護施設を訪問して行い、昨年の12月下旬には、当会の秋庭常務理事と事務局がご自宅や介護施設を訪問し、米寿記念手形の贈呈を行いました。奥瀬 昭穂さん(強巻)に長生きの秘訣を聞いたところ、「今もりんご作業をしており、身体を動かすのが健康の秘訣」と笑顔で話していました。

これからもお体を大切に、心おだやかに過ごして下さいますようお願い申し上げます。



## みんなで作るみんなの居場所 ～令和5年1月から開設しました～



「育～Hug(ハグ)～」は子ども達に安心して過ごせる場所を提供することにより、大人も子どももつながりあい、地域で子どもを育てることを目的としています。本を読んだり、宿題をするスペースやみんなで遊べる玩具もあります。いちど遊びにきてみませんか？

昨年の12月、町内の皆さまに“みんなで作るみんなの居場所”「育～Hug～」を知っていただくため、チラシ配布とあわせて移動だかし屋を行いました。

開設日時	令和5年2月5日・19日/3月12日・26日 いずれも日曜日 9:00～16:00
開設場所	鶴田町保健福祉センター「鶴遊館」 ※送迎はございません
対象	小学生以上（保護者同伴可）

### 善意の灯

(令和4年11月11日～令和5年1月10日: 敬称略)

#### 一般寄付(金銭)

今岡 泰郎	200,000円
株式会社鶴田自動車 代表取締役 神 圭亮	20,000円

#### 一般寄付(物品)

前田ひろ子	手編みの帽子、手作りバック
青森県火災共済協同組合	車いす1台
小林 サエ	折り紙箱
匿名	りんご2箱

思いやりのこもった尊いご寄付をいただきました。ありがとうございました。

### 令和4年度募金実績

(令和4年12月31日現在)

赤い羽根 共同募金	2,184,914円
歳末 たすけあい 募金	829,692円
<b>総額3,014,606円</b>	



赤い羽根共同募金  
歳末たすけあい  
募金への  
ご協力ありがとうございました

### 車いす寄贈

青森県火災共済協同組合

昨年の12月9日、青森県火災共済協同組合から青森県社会福祉協議会の青森県善徳銀行を通じて、福祉事業に携わる県内7事業者に車いす1台ずつ、計7台を寄贈いただきました。  
この車いすは、デイサービスセンターで活用していきます。  
地域福祉への温かなご支援をありがとうございました。



### つばやき

#### 「県福祉大会に参加して」

令和4年11月2日、リンクステーションホール青森にてコロナ禍ではありますが、感染予防対策を十分に配慮しながら、第71回青森県社会福祉大会、チームは「つながりを途絶えさせない地域づくり」が開催されました。  
当日は、秋庭常務理事、坂本事務局長はじめ、役員の方々3名、社協職員、受賞者を代表し、2名で出席しました。

鶴田町からは6名の表彰者があります。詳しくは別紙3ページをご覧くださいませようお願いします。また、私事ですが民生委員・児童委員・主任児童委員として表彰されました。並びに赤い羽根共同募金作文、ポスター作品コンクール入選表彰がありました。最優秀賞者、小学生の部、中学生の部と2名の作文朗読がありました。両生徒さんの作文は最優秀賞にふさわしい内容で、気持ちのこもった発表でした。小学生の男子児童は、募金で集まったお金をより良い暮らしのために役立ててほしいと願うと言った。中学生の女子生徒は、大切なのは困っている人に目を向け、助けられながら生きていくことへの感謝の気持ちを表現した作文でした。とてもすばらしく感動しました。

記念講演として、長野県の諏訪中央病院名誉院長鎌田實先生の動画配信による、演題「がんばらない」けど、「あきらめない」命を支えるということとしてお話がありました。地域活動で健康を目指す。普段からのストレッチ、運動やウォーキングを続けて無理しないで筋力強化の継続が大切！食事は最も大切です！ステキに歳を重ねて行きましょう！と参考になった講演でした。

初めて参加させて頂き、各市町村の地域における社会福祉協議会の役割がいかに大切であるかを改めて確認させて頂きました。  
鶴田町でも毎年福祉大会を開催してまいりました。その際小学生、中学生の福祉に関する作文を募集し、優秀作品が選ばれていました。きと県大会に負けず劣らぬ素晴らしい作品になったことです。  
(木村 夢知子)